

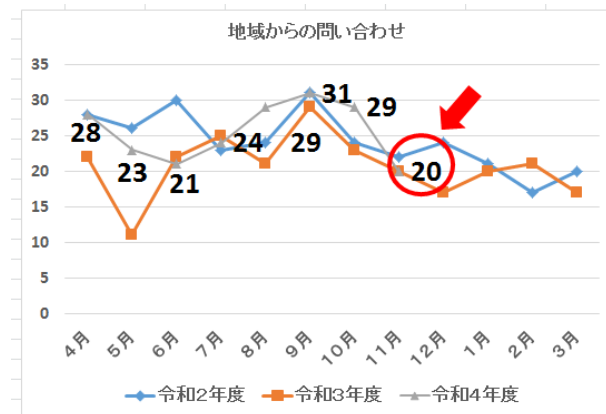


Design号外74号です。地域包括ケア病棟のアンケート実施のお知らせと、令和4年度第2回相楽病診学術カンファレンスの報告を掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

令和4年11月の問い合わせ状況について

～ いつもご紹介頂き、ありがとうございます ～

令和4年11月、皆様から20件のお問合せを頂戴しました。ありがとうございました。



地域包括ケア病棟“彩り”のアンケート実施について

～ 忌憚のないご意見をお寄せ下さい ～

平成26年8月、地域包括ケア病棟“彩り”を開設し、8年が経ちました。地域の皆様のご支援により運営させて頂いており、感謝申し上げます。

これまで、脳卒中後や大腿骨骨折後の患者さんの一部は、地域包括ケア病棟でリハビリを行って頂いていましたが、令和5年4月の回復期リハビリ病棟（34床）開設に伴い、脳卒中後や大腿骨骨折後でリハビリが必要な患者さんの多くは、回復期リハビリ病棟でリハビリをして頂くことになると思います。このような状況を鑑みて、今後の地域包括ケア病棟“彩り”の運営について再考するには良い時期かと考え、この度、アンケートを実施させて頂くこととなりました。地域の皆様からのご要望やご意見を伺い、今後の地域包括ケア病棟“彩り”の運営に活かしていきたいと考えています。短時間で回答頂ける内容となっていますので、お忙しいところ申し訳ありませんが、忌憚の無いご意見を頂戴できましたら幸いです。以下のQRコードを読み込んで頂きますようお願い致します。〆切は、1月13日（金）とさせていただきます。

※ ご回答頂く対象の方は居宅介護支援事業所のケアマネジャーの皆様、地域包括支援センターの職員の皆様とさせていただきます。また、ご紹介頂く職員の皆様が複数名おられる場合は、個別にご回答お願いします。（地域医療連携室 主事 松田 辰基）

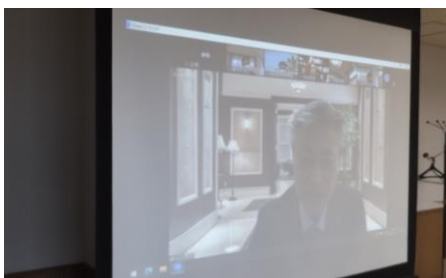


令和4年度第2回相楽病診学術カンファレンスが開催されました

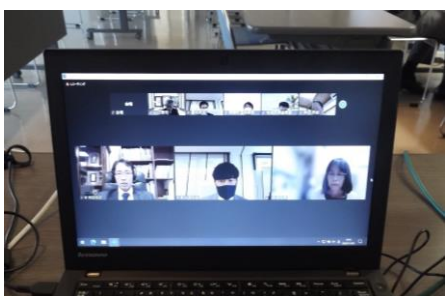
～ 多数のご参加ありがとうございました ～



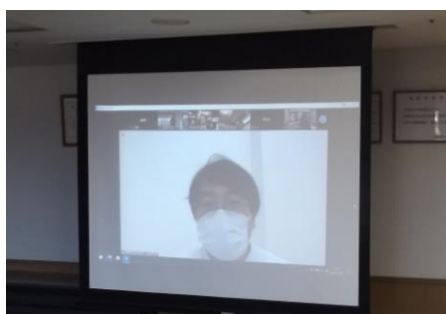
令和4年11月26日（土）、令和4年度第2回相楽病診学術カンファレンスがオンライン開催されました。岡田有史先生（岡田医院 院長）の司会進行のもと、山口泰司先生（相楽医師会 会長）による開会の挨拶で始まりました。



はじめは、「排尿障害について」と題して当院松原弘樹先生（泌尿器科部長）よりご講演いただきました。排尿障害や前立腺肥大症の定義と診断基準、実臨床で行うべき検査と治療について非常に丁寧かつクリアカットな語り口で、普段先生が行われている診療場面が目に浮かぶようでした。



続いて「糖尿病診療における病診連携の有用性」と題して藤木健吾先生（藤木医院 副院長）よりご講演いただきました。藤木先生は奈良県内で長年地域医療に携わって来られ、糖尿病治療の目標は「糖尿病のない人と変わらない寿命とQOL」にあるとして、注意すべき合併症や病気によるステージマ（偏見）を除去すべく、アドボカシー活動についてご紹介くださいました。



最後は「救命における事例報告」と題して平井拓先生（学研都市病院循環器内科部長）よりご講演いただきました。一刻を争う救命現場での成功事例の舞台裏に、ベストを尽くす先生方とほんの少しの幸運が味方したという貴重な体験を伺うことが出来ました。

講演後の意見交換では闊達な質疑が行われ、先生方の豊富な引出しや知恵の共有を聴くことが出来ました。そして、稲田秀郎院長先生（精華町国保病院院長）より閉会の挨拶で終了となりました。今後も相楽病診学術カンファレンスなどの機会を通じて、地域の先生方との顔の見える関係作りを推進してまいりたいと思いますので、引き続きよろしくお願い致します。（地域医療連携室 公認心理師 谷川 誠司）

地域医療連携室より

～ 研修会の予定について ～

令和5年1月下旬、回復期リハビリテーション病棟についての研修会を開催する予定をしています。回復期リハビリテーション病棟の役割や同病棟で実施されるリハビリテーションの内容についてお伝えさせて頂きたく思っています。また、3月には内覧会を予定しています。改めてご案内させて頂きます。よろしくお願い致します。（地域医療連携室 室長 南出 弦）